



2011年3月16日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

基準価額が10%以上下落した投資信託とその背景について

2011年3月15日、弊社投資信託の一部において、基準価額が前日比10%以上下落しました。以下に、該当投資信託の基準価額をお知らせいたします。

投資信託名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
フォルティス日本小型株オープン (愛称：チャンスメーカー)	5,732	-934	-14.01%
レオス日本成長株ファンド (愛称：鞍馬天狗)	5,504	-668	-10.82%
スーパーグロース小型株オープン	2,451	-394	-13.85%
エース新小型成長株オープン (愛称：グランドスラム・ジャパン)	2,474	-402	-13.98%

【基準価額下落の背景】

3月11日金曜日、大引け直前に東北地方の太平洋側で起こった我が国観測史上最大の地震と、その後に沿岸部を広く襲った巨大津波により、多くの人命が失われ、現段階で被害の全容すら不明な状況です。

更に、東京電力などによる電力供給の制限が発表され、多くの産業で生産活動の削減を余儀なくされております。また、日常生活の保守化が進んでいることから、日本経済全体のパイの縮小が懸念される状況となっています。こうしたなか、15日昼には、福島県における原子力発電所の保安状態に大きな疑念が生じたことで株式市場は売り状態となりました。

株式市場は、電力・ガス、素材、不動産・倉庫、消費関連、電機・精密など、あらゆる業種が値下がりする全面安商状となり、大引けにかけてやや持ち直したものの、日経平均株価と東証株価指数はそれぞれ、10.6%、9.5%の大幅下落となりました。中・小型株市場にも売りが止まらず、日経ジャスダック平均は8.5%、東証マザーズは11.3%のそれぞれ続落となり、各投資信託の主要投資対象としている銘柄群も大きな売り圧力を受けました。

本資料は、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、日本株式市場に関する当社の見解及び「フォルティス日本小型株オープン（愛称：チャンスメーカー）」、「レオス日本成長株ファンド（愛称：鞍馬天狗）」、「スーパーグロース小型株オープン」、及び「エース新小型成長株オープン（愛称：グランドスラム・ジャパン）」に関する情報を提供することを目的として、2011年3月16日に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も、将来の運用成績を保証するものではありません。



【投資信託のお申込みに際しての留意事項】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■ 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料 上限 3.675 % (税込み)

■ 換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保金 上限 1.0 %

■ 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 上限 1.89 % (税込み)

■ その他費用

上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

● 設定・運用は

商号 BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社
(BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社は、2010年7月1日に
ビー・エヌ・ピー・パリバアセットマネジメント株式会社から社名変更いたしました。)

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 378 号
加入協会 社団法人 投資信託協会
社団法人 日本証券投資顧問業協会